Creative Enzymes®

ネイティブボバイングアニル酸キナーゼ

Cat. No. NATE-0309

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、グアニル酸キナーゼ（EC 2.7.4.8）は、化学反□を触媒する酵素です：ATP + GMP↔ ADP + GDP。したがって、この酵素の二つの基質はATPとGMPであり、その二つの生成物はADPとGDPです。この酵素は転移酵素のファミリーに属し、特にリンを含む基を転送する酵素（リン酸転移酵素）で、受容体としてリン酸基を持ちます。この酵素はプリン代謝に関与しています。
別名	グアニル酸キナーゼ; デオキシグアニル酸キナーゼ; 5'-GMPキナーゼ; GMPキナーゼ; グアノシン一リン酸キナーゼ; ATP:GMPホスホトランスフェラーゼ; EC 2.7.4.8; 9026-59-9

製品情報

種	ウシ
由来	牛の脳
形態	リン酸カリウムバッファー塩を含む凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.7.4.8
CAS登□番号	9026-59-9
活性	10-40 ユニット / mg タンパク質
代謝□路	アバカビルの代謝、特定の生物系; グアニンリボヌクレオチド生合成 IMP => GDP,GTP, 特定の生物系; ヌクレオチドの代謝、特定の生物系
機能	ATP結合; グアニル酸キナーゼ活性
単位定義	1ユニットは、pH 7.5、30°Cで、1分あたり1.0 μmoleのGMPとATPをGDPとADPに□換します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C